

履修者選抜 抽選 at a glance

1

1. 課題選抜と抽選
2. 一斉締切
3. “通りたい度”の導入 **NEW**
4. 履修許可数上限の導入 **NEW**

2

選抜の方法

- 選抜方法（課題選抜または抽選）は、授業担当者または科目群を運営する協議会が、科目ごとに設定しています。
 - 課題選抜科目のうち、部分的に抽選を実施している科目は、以下で説明する抽選科目には含まれません。これらの科目では、個別かつ無作為の抽選が行われます。
- 初学者向けの科目は、原則として抽選です（基礎知識の多寡で選抜結果を決められません）。
- 原則として、進級や卒業の状況によって抽選結果にバイアスはかけません。入学時点では、全学生が同じ要件・状況ですから、途中経過によってバイアスをかけるのは、むしろ不公平です。

3

一斉締切

- 春学期と同様、一斉締切です。
- 一斉締切にすることで、全学生の全エントリー状況を把握し、極端に幸運または不運な学生がでないように履修許可を割り当てています。
 - 例：倍率2倍の抽選科目に5科目エントリーした学生は、必ず2～3科目の履修許可を得られます。運良く5科目すべての許可を得る学生も、運悪く5科目すべての抽選に外れる学生もいません。このような調整を行うには、一斉締切が不可欠です。

4

NEW “通りたい度”の導入

- エントリーした抽選科目ごとに、あなたがこの科目をどのくらい履修したいかを表す“通りたい度”を設定します。
- 抽選倍率の高い科目でも、“通りたい度”を大きく設定すると、抽選に通りやすくなります。
- かといって、すべての科目の“通りたい度”を大きくすることはできません。科目ごとに“通りたい”優先度を考えて「数字の大小で」設定します。
- 人気科目では、他学生の多くも大きな“通りたい度”を割りふるかもしれません。あなたの当選確率は、他学生の設定した“通りたい度”との兼ね合いで決まるので、必ず思い通りの結果が得られるわけではありません。
- より詳しくは、『“通りたい度”解説』をご覧ください。

5

NEW 履修許可数上限の導入

- 2017年度秋学期は、抽選を通る科目の上限は8科目です。
 - エントリーした科目すべてが全員許可になった場合などはこの限りではありません。
- 抽選エントリー数に上限はありませんが、抽選を通る科目数が上限を超えないように、“通りたい度”の小さい科目を自動的に削除します。
- 抽選を通った科目の数にかかわらず、履修許可を得た科目の多くを履修申告しない、履修中止するなど、他学生の履修機会を奪ったと認定された学生には、来年度以降の履修者選抜で何らかの措置を検討しています。

6